

紫陽花 聲

西野神社社報
第1号

令和7年5月発行

～退任のご挨拶～



前宮司

須浪 和弘

この度、令和七年四月三十日付を以ちまして西野神社宮司の職を退任致しました。

思えば平成三年宮司就任以来三十四年の永きに亘り、大過なく今日までその職責を全うすることができましたのは、神明の御加護はもとより氏子崇敬者皆様のご芳情の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。

後任の門辰弥宮司に対しましては私同様に変わらぬご厚誼を賜ります様謹んでお願い申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。

～就任のご挨拶～



宮司

門 辰弥

氏子崇敬者各位に於かれましては常日頃より西野神社の諸祭事・諸行事に特段のご理解、ご配慮を頂いておりますこと、厚く御礼を申し上げます。

この度、令和七年五月一日付を以ちまして西野神社宮司を拝命致しました。素より浅学非才の身にしてその重責を痛感しておりますが、この上は氏子崇敬者皆様の崇敬の真心を支えに、御神徳の高揚と御社頭の隆昌の為、一心に励んで参る所存でございます。

開拓の守護神として奉齋されてより百四十年、地域の皆様と共に歩み、今では氏子区域の西野・平和・福井はもとより市内外各地より安産・縁結び・厄除開運・育児の神様として、多くの参拝の方がお越しになる西野神社の歴史を、次の世代により良い形で受け継いでいくべく、職員一同一丸となつて祭祀の厳修と境内の維持整備に努めて参りますので、どうか尚一層の御指導御鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

春季例祭並びに創祀百四十年記念大祭

令和7年4月25日齋行



参列者一同改修された社殿前にて



宮司以下祭員玉串拝礼



祝詞奏上



参列者玉串拝礼



朝日舞奉納

神社のあれって何？

ご祈祷や祭祀等で先ず始めに行う修祓（しゅばつ〓お祓い）で身を清める時に使います。

今回は「玉垣」についてご説明致します。



世間では、「お祓い棒」と言われたりしている様ですが、正式名称は「大麻 おおぬさ」と言います。

神主の独り言

「ものもらい」〓ものもらいは医学的にまぶたの縁に細菌感染が生じることによって発症する病気のことですが、医学が発達する前の昔は名前の通り「物をもらえば治る」と信じられており、神様から物をもらえば治る〓神棚にお供えされていた物を戴くと治ると言われておりました。

根拠はさておき実際効果があつたからこそ、そのような治し方が伝わっていたため、今は薬で治せても昔は神様のお力によって多くの人達が救われていたという事ですね。

今回は「逆さ箒」を語りたいと思います

記念祝賀会



宮司謝辞



総代長謝辞



感謝状贈呈



乾杯

4月のご報告



4月1日、敬神婦人会の皆様に
本年最初の境内清掃奉仕をしてい
頂きました。

西野神社

5・6月の予定

6月30日 夏越大祓式

子宝 子の日

安産 戌の日

5月 7日/19日/31日
6月 12日/24日

5月 5日/17日/29日
6月 10日/22日

病氣平癒 申の日

開運 一粒万倍日

5月 3日/15日/27日
6月 8日/20日

5月 10日/11日/22日
23日
6月 3日/4日/5日/6日
17日/18日/29日
30日

大吉日 天赦日

5月 25日

今季の御朱印



春＝桜をあしらったピンク色の御朱印
初穂料 三〇〇円

他、切り絵朱印や限定朱印等もあります。

御守り紹介

レースの中の水玉模様は、海と水神で
ある豊玉姫の御珠をイメージした御守り
となっております。



レース御守り縁結び

初穂料七〇〇円

編集後記

この度、西野神社
百四十年の節目の年
に「社報紫陽花の聲」
が発刊になりましたこ
と改めてご報告申し
上げます。
この社報は西野神
社の祭事予定やお知
らせ、豆知識等をお
伝えするために発刊
致しました。
皆様に神社のあれ
これをお届け出来ま
すよう努めて参りま
すので、宜しくお願
い申し上げます。

